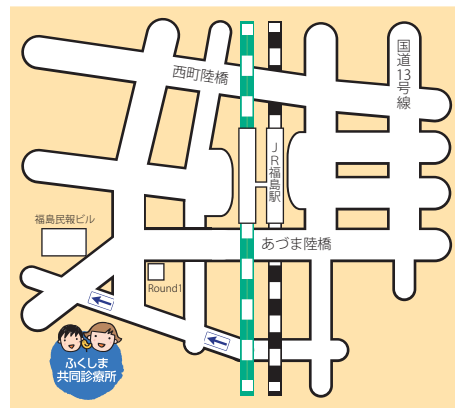


# ふくしま共同診療所

【診療科目】 内科・放射線科・循環器科・リウマチ科  
 【休診日】 毎週水曜日・祝日（月曜日の午後は休診）  
 【診療時間】 9:30～12:30 / 15:00～18:00



〒960-8068  
 福島市太田町20-7 佐周ビル1階  
 （福島駅西口徒歩5分、福島民報ビル南側）  
 TEL 024-573-9335 FAX 024-573-9380  
<http://www.fukushimacollaborativeclinic.jp/>  
 『ふくしま共同診療所』で検索してください

## 建設基金 目標3億円 基金は1口1万円です

基金・募金は振込用紙にてお振込みください。募金は金額に関わりなく受け付けています。

SunRise No.5 2013年10月1日発行

### 福島診療所建設委員会 Fund-raising Committee for Fukushima Clinic

〒960-0662  
 福島県伊達市保原町柱田字平84 渡辺 馨  
 電話 070-5476-6162  
 WEB <http://www.clinic-fukushima.jp>  
 E-MAIL [info@clinic-fukushima.jp](mailto:info@clinic-fukushima.jp)

# SunRise

No.5 福島診療所建設委員会  
 2013.10.1 Fund-raising Committee for Fukushima Clinic

<http://www.clinic-fukushima.jp/>

## 被ばくと真正面から向き合い 命と健康を守る拠りどころに

9月8日、ふくしま共同診療所報告会が開催されました。松江院長から「甲状腺エコー検査から見えてきたもの」と題した診療報告、特別講演として崎山比早子先生(国会事故調査委員、医学博士)から「原発事故による健康障害過小評価の背景——国会事故調で明らかにしたこと——」と題してお話していただきました。



松江院長

ふくしま共同診療所がオープンして9ヶ月になります。いま、共同診療所では6人の医師が診療にあたっています。6人それぞれの専門分野はあるので、何か起きてもいろいろ対処できるようになっています。

診療所に来られた患者さんの9割は、甲状腺のことを心配しているお子さんです。開院から9ヶ月で、約600人の子どもの甲状腺を検査してきました。私たちが検査したなかからは、幸いなことにまだ甲状腺がんは一例も出ていません。

### 「蜂の巣」状に広がる<sup>のう</sup>嚢胞が多数

しかし検査していくうちに、ちょっと信じられないようなことがわかってきました。小さな嚢胞が甲状腺全体に無数に広がっているという症状が多く出てきたのです。

嚢胞というのは水のたまった袋のことで、嚢胞からがんになるということはありません。大人の場合には1～2センチのはっきりした嚢胞が2、3個見つかることはよくあります。

ただ、福島の子どもたちをエコー検査してわかったことは、1センチ以下の嚢胞が無数にある症例が多数あるということです。私は「蜂の巣」と言っていますが、嚢胞が見つかった子どものうち、実に36%は蜂の巣のように無数にあったのです。

ここから考えられるのは、甲状腺全体が何らかに侵されているのではないかとということです。そして、それが放射線の影響ではないかと疑うのは常識ではないでしょうか。嚢胞自体はがんではないけれども、甲状腺全体に何らかの異常が起きているわけで、これから甲状腺のどこかにがんが出てくる可能性があるのではないかと、非常に心配しています。

### 甲状腺超音波検査結果

- 18歳以下の検査人数 252人(12年12月～13年4月)
- 異常なし 121例(48%)
- 有所見者 131例(52%)
  - 結節 3例
  - 嚢胞 121例
  - 無数微小嚢胞 43例  
 (検査対象者の17%、嚢胞所見の36%)
  - 不均一 7例
- 年間放射線被ばく量と微小嚢胞の関係
- 1.0～5.0<sup>ミリ</sup>Sv/年 25例
- 0.5～1.0<sup>ミリ</sup>Sv/年 18例



共同診療所では、一度検査を受けたあとも6ヵ月ごとに定期的な検査を行い、甲状腺の機能が低下していないかどうかという変化を見ながら、治療にあたっていくという体制をつくっています。